

東京都第16回空き家対策連絡協議会  
空き家対策からエリア管理への展開  
2022年2月7日

東京都立大学 都市政策科学科 饗庭伸

- 1 空き家が発生することは悪いことではない
- 2 空き家を都市計画の実現手段、課題解決手段としてとらえる
- 3 課題解決手段として空き家が適切な場合とそうでない場合がある
- 4 課題解決手段としての空き家の可能性
- 5 課題解決型（マンツーマン）から、エリア管理型（ゾーン）への展開

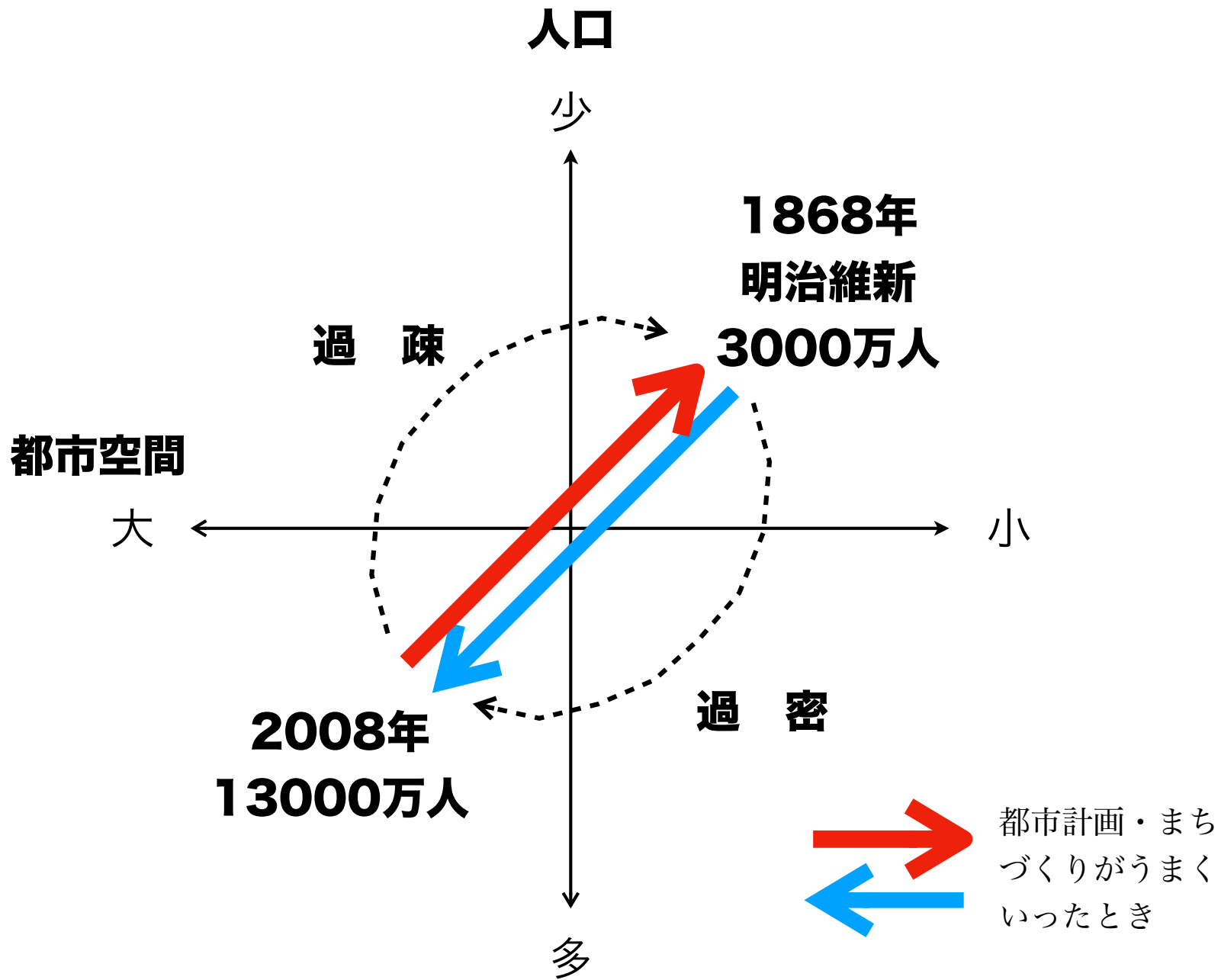
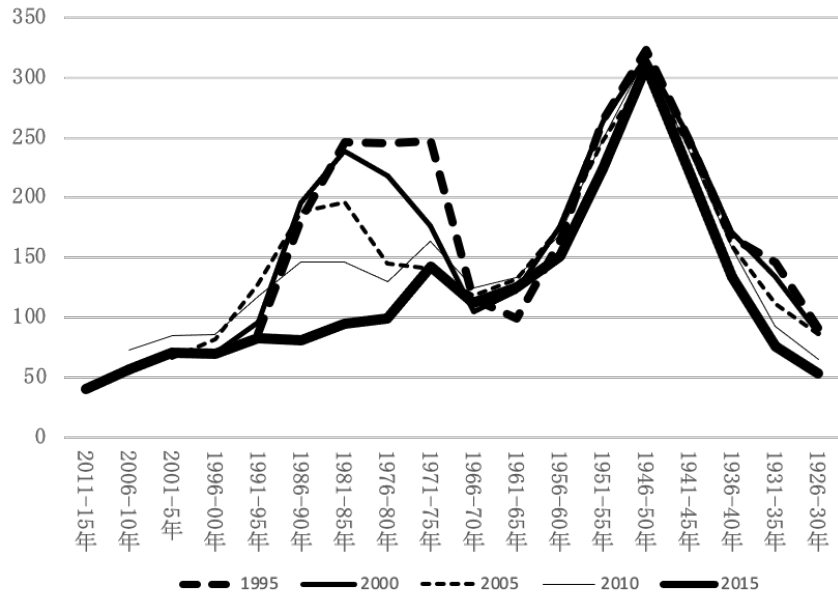


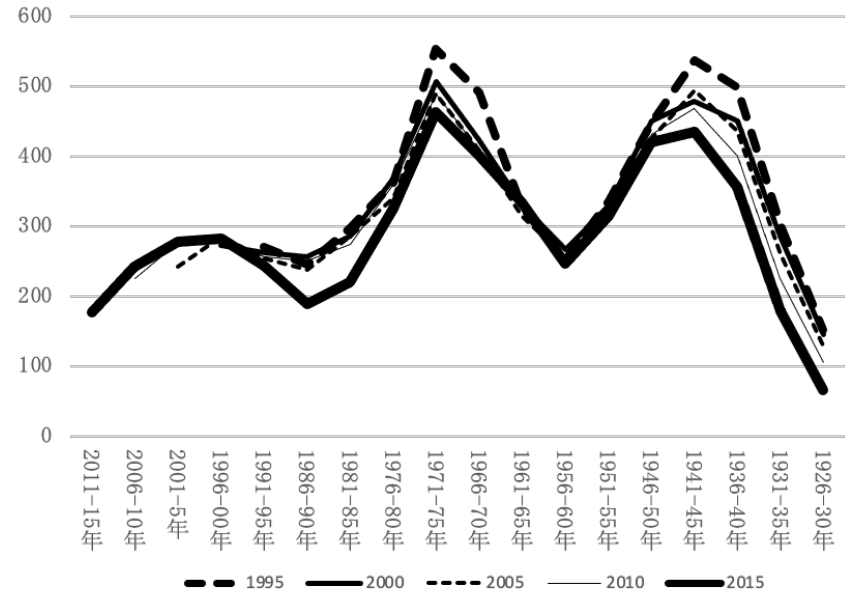
図1 人口と都市空間の関係

	空き地や 空き家	低密度な 居住地	高密度な 居住地	拠点	公共交通	都市像
コンパクトシティ +ネットワーク	解消する	将来的な リスクで あり、縮 小する	拠点の周 辺に集約 する	機能を強 化、集約 する	維持・強 化する	公共交通と拠点を強 化し、居住地を集約 して、密度が高いコ ンパクトな空間で暮 らしと仕事が完結す る都市
	重要でない ←-----→ 重要					
新型コロナ ウイルスの影 響	カスタマ イズの余 地	感染リス クが低い	感染リス クが高い	商業機能 が解体す る	感染リス クが高い	公共交通や拠点に頼 らず、密度が低い、 カスタマイズされた 居住地で暮らしと仕 事を完結させる都市
	重要 -----→ 重要でない					

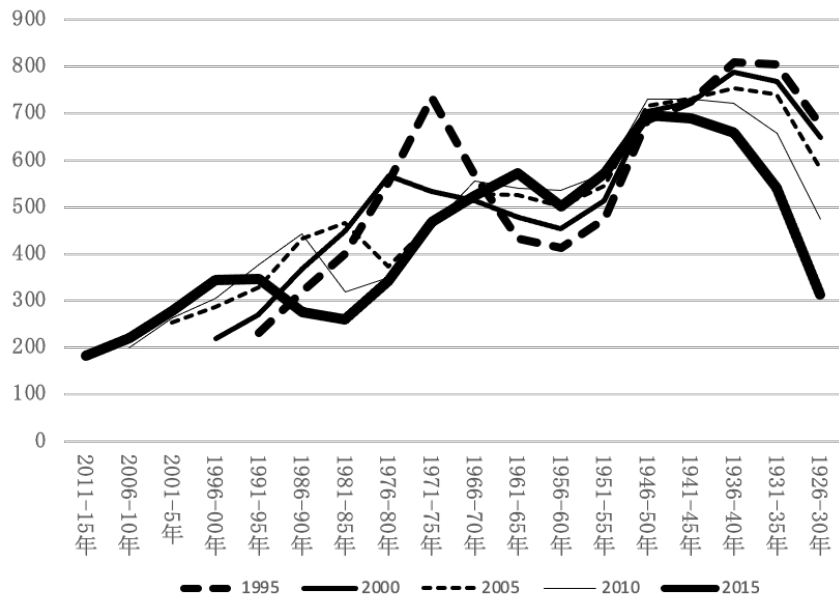
**図2 新型コロナウイルスのコンパクトシティへの影響**



**T地区**

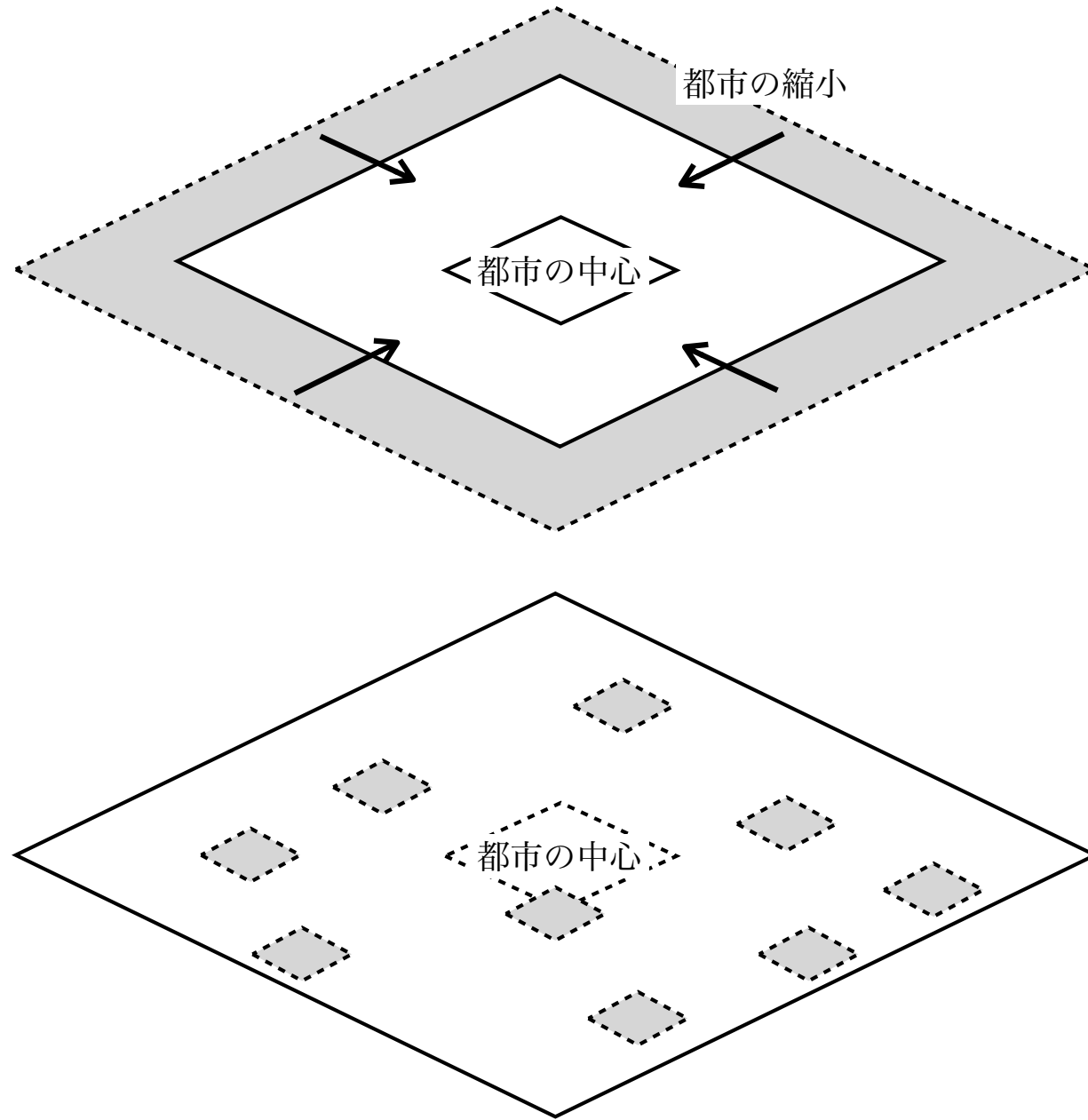


**D地区**



**M地区**

**図3 郊外住宅地の生年コーホート**



**図4 都市のスポンジ化**



**図5 空き家活用のワークショップ**



**図6 エリアへの展開？**

- ・世田谷まちづくりファンドの経験
- ・目的によって結びつく「アソシエーション」を育てる仕組み。
- ・土地によって結びつく「コミュニティ」は隣人愛で活動を広げていく。
- ・目的や計画に「とらわれすぎず」、成長「しなくてもいい」、「隣人愛」に基づいて変わっていく活動が必要なのではないか。
- ・「つながりラボ部門」の創設。もともと拠点を持っていたグループが、拠点を中心に、あれこれやることの資金を支援。計画を詳細に立てず、失敗してもよいという立て付け。どうなるか・・・

せたがやの住みよい環境づくりにつながる  
区民主体のまちづくり活動に助成をします

# 第29回 公益信託 世田谷まちづくり ファンド 助成事業

## 2021年度の助成部門

### 【はじめての一步部門】

これからまちづくりの第一歩を踏み出そうとしているまちづくり活動に対して助成。  
【助成額:一律5万円】

### 【まちづくり活動部門】

住みよい環境づくりをめざす住民グループのさまざまなまちづくり活動に対して助成。  
今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた緊急対応として、4回目の応募が可能。  
【助成額:5~50万円】

アンダー

### 【U23チャレンジ部門】(春・秋 2回)

20代前半までの若いみなさんが、世田谷のまちでやってみたいチャレンジに対して助成。  
【助成額:1~10万円】

### 【つながりラボ部門】**NEW**

社会状況の変化の中で、他者と協働し、暮らしの課題解決や新たな価値創造への実験的な活動に対して助成。すでに場(つながりラボ)をもっている活動が対象。  
【助成:一律50万円】

### 応募事前相談 要予約 zoom相談可

2021年 2月26日(金)~4月2日(金)  
一般財団法人 世田谷トラストまちづくり  
☎03-6379-1621  
✉stm.301@setagayam.or.jp

### 応募受付 郵送必着

2021年 4月5日(月)~4月19日(月)  
●U23チャレンジ部門・春のみ、5月7日(金)まで

### お問合せ

三井住友信託銀行  
個人資産受託業務部 公益信託グループ  
☎03-5232-8910

応募締め切り  
4/19(月)  
郵送必着  
【U23チャレンジ部門・春は5月7日(金)】

